TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

新型コロナウイルスによる物流への影響

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2020 年 1 月 28 日）

中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス関連肺炎の拡大により、物影への影響が生じています。
また、コンテナ輸送では武漢港が先週末から荷役を停止しており、旧正月明けの物流の混乱が懸念されます。

1. 新型コロナウイルスによる肺炎の拡大

2019 年 12 月以降、新型コロナウイルスによる肺炎患者の発生が報告され、中国を中心に、世界各国でも発生が報告されています。1 月 26 日午前 0 時までに確認された累計感染者数は 1,975 人、うち重傷者 324 人、死亡者 56 人となっています。日本政府はこうした状況を受け、新型コロナウイルス発生による感染症危険レベルについて、中国湖北省全域を「レベル3」地域に引上げ、渡航を止めるよう呼びかけました。

2. 武漢市内の状況

新型コロナウイルスの流行の中心地となった武漢市では、公共交通機関および港湾施設が閉鎖されています。中国では 1 月 25 日から旧正月が始まったため、今週は中国発着の荷動きは少ないものの、旧正月明けの物流への影響が懸念されています。

【武漢港】
武漢港は中国最大の河川港であり、上海などのハブ港で大型船から貨物を積み替えた内航船やバージが多く使用しています。また昨年には、日本各港と直接つながるコンテナ航路が開通するなど、湖北省に多数進出している日系企業の貨物は武漢港を経由して輸送されます。
海事局の通達により、1 月 24 日より武漢港でのコンテナ船着岸および荷役作業が停止されたため、現在は緊急物資や生活必需品の輸送船以外の寄港は許可されていません。また、武漢から 200 キロメートル離れた湖南省 Yueyang が代替の港として挙げられていますが、港湾閉鎖前に各地から出荷された多くの貨物は、現在接続港のヤード内に留置された状態です。

【道路】
1 月 26 日午前 0 時より、許可された物資輸送車、無料公共交通車両、公務用車両を除き、中心市街区での車両の通行が禁止されました。

【公共交通機関】
1 月 23 日より、公共交通機関（地下鉄、路線バス、長距離バス、フェリー）を運休し、空港と鉄道を閉鎖しています。

◇◆◇◆◇◆